

5月22日（土）5:30公演後

林田 光弘 様

(元「ヒバクシャ国際署名」キャンペーンリーダー)

1992年、長崎県出身。

長崎市出身の被爆3世。爆心地に近い同市浦上地区で育ち、高校生1万人署名や高校生平和大使の活動に参加する。明治学院大学に在学中、SEALDs（自由と民主主義のための学生緊急行動）の創設に参加し、中心メンバーとして活動。現在は会社勤めの傍ら、被爆者の証言会などを続けている。

2016年、「ヒバクシャ国際署名」のキャンペーンリーダーに就任。核保有国と非保有国の対立に危機感をもった被爆者団体が2016年に始めた、核兵器を禁止・廃絶する条約を結ぶことをすべての国に求める署名活動を、2020年12月末まで5年間務める。

また、2021年からは核兵器禁止条約発効をさらに盛り上げるべく「すすめ！核兵器禁止条約プロジェクト」を立ち上げ、条約発効を契機に核廃絶の取り組みを新しいフェーズに移行させるためのムーブメントを起こす起爆剤となることを目標として活動している。

5月24日（月）7:00公演後

木村 草太 様（憲法学者）

1980年、神奈川県出身。

東京都立大学教授。誰もが憲法について正しく理解し議論出来ることが大切であると考え、時事問題について憲法の視点から分かりやすく解説している。テレビ朝日「報道ステーション」コメンテーターを務めるなどテレビにも多数出演。

沖縄タイムスで「木村草太の憲法の新書」連載中。SNS・講演会なども通じて幅広く明快な情報発信をしている。毎日小学生新聞の人気連載を書籍化した『ほとんど憲法 小学生からの憲法入門』をはじめ、『日本一やさしい「政治の教科書」できました。』など著書多数。

原爆の日の記憶が薄れていることにも危機感を抱いている。若者の学問への関心を増やす取り組みも積極的に行っている。

スペシャルトークショー ご登壇者紹介

5月26日（水）2:00公演後

西村 繁男 様（絵本作家）

1947年、高知県出身。

精密な観察をもとに人びとの日常の姿を描いた絵本『やこうれっしゃ』、『おふろやさん』をはじめ、『絵で見る日本の歴史』、『ぼくらの地図旅行』など数多くの作品がある。

第43回産経児童出版文化賞を受賞した『絵で読む広島原爆』（文・那須正幹）を描く際には居を広島に移し、原爆の真実を自分のものにするために約一年間、図書館や資料館での資料にあたり、被爆者の話も数多く取材した。原爆の開発から投下にいたる歴史的背景、当時の広島町の様子、人々の暮らし、核兵器の原理、放射線障害など、原爆を今日的な視点で多角的に描いた。

全国各地で原画展や講演会、小学校での出前授業も実施している。

5月29日（土）5:30公演後

鵜山 仁 様（演出家）

1953年、奈良県出身。

文学座演出部所属。

2020年、紫綬褒章を受章。

主な演出作品に、『グリークス』『女たちの十二夜』『リア王』『ロンサム・ウェスト』『ゆるる車の音』『舞台は夢—イリュージョン・コミック』『くにこ』『幽霊』『ヘンリー四世』など。

1987年の『雪やこんこん』以来、『兄おとうと』『マザンナ、わが町』など、こまつ座の公演を3000ステージ近く手掛けている。『父と暮せば』の演出は1994年の初演から手掛けており、この作品で第2回読売演劇大賞優秀作品賞・優秀演出家賞を受賞。